実施状況報告

事　業　名	平成30年度　第37回文化祭及び「愛顔のふれあいフェスタ」
実施主体名	愛媛県立みなら特別支援学校
日　　時	平成　30年　10月　27日（土）　　９　：　20　～　14　：　30
場　　所	愛媛県立みなら特別支援学校
参　加　者	本校児童生徒、教職員、保護者、一般住民　（約１８００名）

今年度は、「愛顔（えがお）のバトン　あふれる感動　今こそ君に伝えたい」のテーマの下、ステージ発表や展示、販売活動等の例年の文化祭に加え、地域の方々や近隣の小・中・高等学校等の児童生徒を招いての交流及び共同学習「愛顔（えがお）のふれあいフェスタ」を同時開催しました。

ステージ発表では高等部音楽部が器楽演奏（「おどるポンポコリン」）と合唱（NHK朝の連続小説「半分、青い。」より「アイデア」）を、運動部が「USA」と「Battery　バッテリー」の曲に乗ってダンスを披露しました。発表のラストは、３年生による和太鼓演奏で、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。

ステージ発表終了後、授業や部活動における作品の展示や中学部・高等部作業班を中心とした販売活動を行いました。他にも保護者によるバザーや喫茶、おやじ・おふくろの会、青年学級を行いました。また、高等部クリーン班の実演と体験ブースを設け、愛顔のえひめ特別支援学校技能検定のデモンストレーション等も行いました。

「愛顔（えがお）のふれあいフェスタ」は、運動部生徒が中心となり障がい者スポーツ体験を実施しました。フライングディスクを枠のゴールに向けて投げ、その通過数を競う「アキュラシー」の体験や、柔らかいフライングディスクを使用してドッジボール形式でのゲームを行う「ドッヂビー」での交流など、本校児童生徒と来校者が楽しく触れ合い、活気にあふれた一日となりました。